

<コラム>

H20年度兵庫県地価公示概況(2008.3.26)

(全国の概況)

平成19年1月以降、全国平均で見ると、住宅地・商業地とも2年連続で上昇となった。三大都市圏の都心部で上昇幅が縮小した地点が現れた。地方圏においては、4年連続して下落幅は縮小したが、依然下落地点が大半を占めている。

工業地について全国平均が17年ぶりに上昇となった。

数値で見ると、全国平均で住宅地+1.3%(昨年+0.1%)、商業地+3.8%(+2.3%)、工業地+0.5%(昨年▲1.8%)となった。

(兵庫県の概況)

住宅地は平均+2.5%(昨年+0.8%)で、2年連続でプラス。芦屋市が平均+11.4%、9割近くの点で10%を超えた。神戸では長田区が0%で下げ止まり、西区を除く須磨・垂水区で上昇に転じた。明石も上昇に転じた。

商業地は平均+2.5%(+1.3%)で、2年連続でプラスとなった。

工業地は平均+0.7%(昨年▲1.5%)で、17年ぶりに上昇に転じた。

都 市	住宅地 (昨年) (%)	商業地 (昨年) (%)
神戸市	+2.0 (+0.6)	+6.8 (+6.4)
尼崎市	+5.0 (+2.5)	+6.1 (+3.9)
西宮市	+9.9 (+5.9)	+9.1 (+5.3)
芦屋市	+11.4 (+8.8)	+9.6 (+6.2)
明石市	+0.1 (▲1.2)	▲0.8 (▲2.5)
加古川市	▲1.1 (▲2.3)	▲1.1 (▲1.8)
姫路市	▲0.5 (▲1.6)	▲0.3 (▲1.3)

以 上

(2008.3.26 あいき不動産鑑定株式会社 不動産鑑定士 土田剛司)